

## 令和5年度 岡崎市美術品等収集委員会会議録

- 1 開催日時  
令和5年12月5日（火） 午後2時～午後3時30分
- 2 開催場所  
岡崎市美術博物館会議室及び一時保管庫等
- 3 出席委員  
神谷浩委員長・石崎尚委員・高橋秀治委員・山田美佐子委員・吉田俊英委員
- 4 説明のため出席した職員  
榊原悟美術博物館・地域文化広場・美術館特任館長  
美術博物館  
前島豊館長・大澤一実副館長・酒井明日香主査・今泉岳大主査  
田中裕紀乃主事  
地域文化広場  
五十嵐千草館長・真山陽理子主事  
美術館  
犬塚恵子館長・稲垣満春主事
- 5 会議の成立  
委員5名全員が出席のため、岡崎市美術品等収集委員会設置要綱第4条第2項の規定により、会議の成立を確認した。
- 6 会議の公開・非公開について  
岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を取り扱うため、本会議について非公開とした。
- 7 会議の内容  
収集候補資料8件（購入1件、寄附7件）について、一時保管庫等にて資料を実見し、美術博物館職員、地域文化広場職員、美術館職員が説明した。  
審議の結果、上記の資料全8件について、全会一致で収集が妥当との結論が出た。  
委員の意見等は以下のとおり。

### 【購入資料】

調書番号1-1 「冷泉為恭《蛭子命図》」

- ・巧みで綺麗な線で描かれており、画家の高い技術が表現されている。冷泉為恭は岡崎市にゆかりがある。大樹寺の襖絵や、これまで美術博物館が収集した作品を併せて、岡崎市内にある作品で為恭の全貌を辿ることができる。良い活用を検討してほしい。作品の質が高く、受け入れに異議なし。

### 【寄附資料】

調書番号2-1 「国島征二《FUKURO》2点」

- ・国島征二の作品について、特に晩年は小さなものが多く、ミュージアムピースという印象はなかったが、本作はサイズが大きく存在感もあるため美術館に収蔵されるに相応しい作品である。大変貴重であり、受入に異議なし。

調書番号2-2 「森真吾《Untitled 87-9-3》」

- ・クオリティ、サイズともに美術館向きの作品であると言える。ミュージアムピースであるため受入に異議なし。

調書番号3-1 「駒形克己《溪谷》はじめ4点」

- ・コラージュの複製であるという点について、説明を間違えないようにしてほしい。子どものワークショップや学校現場などで積極的に活用してほしい。子どもに向けた活用が期待でき、受入に異議なし。

調書番号4-1 「鶴見雅夫《花瓶の花》はじめ10点」

- ・絵本の原画は3点ということだが、可能ならば全て揃って収蔵できると良い。90年以降の作品は愛知県美術館にも収蔵しており、スクエアのキャンバスを十字に区切る手法は彼のひとつの到達点である。60年の「開祖」2点についてはコンディションが心配であるため、一度修復家に見てもらい保管方法や修復について検討してほしい。作品のクオリティとして問題なく、受入に異議なし。

調書番号4-2 「中根寛《本宿風景》はじめ2点」

- ・中根寛は郷土の作家なので、地域の美術館で徹底的に集めるべきである。10代の作品ということで、必要に応じて子ども美術博物館でも活用できるだろう。地域で受け入れるべき作家であるため受入に異議なし。

調書番号4-3 「安藤昇「動物シリーズ」91点」

調書番号4-4 「森慎吾「乗り物シリーズ」56点」

- ・見て楽しめるものを収蔵し、市民に美術を楽しんでもらうことは美術館にとって必要な役割である。地元で活動されてきた作家の作品であり、受け入れに異議なし。